

## ■ 連携の拠点の取組について

資料 3

	対象地域	東大阪市（東地区）
実施主体	連携の拠点	枚岡医師会
	市町村医介連携事業（委託先）	枚岡医師会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東大阪市内在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会（2月22日）</li> <li>■ 三医師会合同災害対策会議（毎月計10回開催予定）</li> <li>■ 三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会（8月から計4回開催予定）</li> <li>■ コーディネーター運営委員会（適宜）</li> <li>■ 認知症初期集中運営委員会（適宜）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療ケア児への在宅医療の実態について観察すべきポイントや医介連携についての把握</li> <li>■ 小児・障がい福祉サービスに係る在宅医療資源把握のための調査</li> <li>■ 三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・三医師会、行政との連携確認</li> <li>・小児在宅医療講習会（12月7日）の開催</li> <li>・ポータブル電源mapの作成</li> <li>・レスパイト入院につき迅速な対応が出来るよう手順構築</li> </ul> </li> <li>■ 東大阪市内在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口を設置</li> <li>■ 医療マップ改訂作成し9月上旬関係機関に配布、HPIにて各医療機関情報更新</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療ケア児への在宅医療に係る研修会（開催月未定）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 枚岡在宅医療フォーラムの中で市民への啓発を兼ね災害時に関する医療情報を提供（11月2日）</li> </ul>
(2) 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>②小児・障がい福祉サービスについて調査中。コーディネート業務は対応中。</li> <li>④医療ケア児への在宅医療に係る研修会は協議中。</li> <li>⑤枚岡在宅医療フォーラムの中で災害時に関する医療情報を市民に啓発する段取りができています。</li> </ul>			
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>②にて小児・障がい福祉サービスについて調査し、相談があった際の準備は進めているが、実際の対象者となる患者把握ができていない。よって、今後、市町村や保健所等、関係機関とともに検討を進めたい。</li> </ul>			

## ■ 積極的医療機関の取組について

対象地域	東大阪市（東地区）
実施主体	連携の拠点 枚岡医師会
	市町村医介連携事業（委託先） 枚岡医師会

### (1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

他医療機関等への調整・支援等

#### (主な取組)

- 機能強化型支援病院・診療所として在宅診療、緊急時往診を実施。
- 関係機関への働きかけとして、在宅調整時の退院前カンファレンスの推進、在宅診療の連携医療機関同士で相互の医療情報の交換を行う。
- 三医師会合同の災害合同対策会議に参画。
- 地域包括支援センターが主催する多職種連携研修会の企画・運営・助言。
- 研修医の地域医療研修を定期的に入入れ。
- 医療従事者向けにACIPに関する研修会の開催。地域包括支援センターから依頼を受けた市民向け啓発活動の実施。

(2) 対応状況	<p>積極的医療機関 4 件における対応状況</p> <p>① 急変時の診療支援 現状対応可 3 件</p> <p>② 在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可 3 件</p> <p>③ 地域医療研修の機会確保 現状対応可 3 件</p> <p>④ 災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 1 件</p> <p>⑤ 地域包括支援センター等との協働 現状対応可 3 件</p>
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ オンラインによる医療機関の情報の共有（特に画像情報）</li> <li>■ 退院支援がない状態で在宅に移行されるケースがあり在宅支援未整備で困惑することがある。</li> <li>■ 病院MSWとの連携が必要。</li> <li>■ 自院のBCPを他院と連携共有。</li> </ul>

※上記の内容は東大阪地域の積極的医療機関の取り組みを集約したものであり、各医療機関がすべての項目を実施しているものではありません。

## ■ 連携の拠点の取組について

実施主体	東大阪市 (中地区)
連携の拠点	河内医師会
市町村医介連携事業 (委託先)	河内医師会

(1) 令和6年度の取組内容 (予定含む)				
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> <li>■東大阪市内在宅医療介護連携推進コーディネーターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会 (2月22日)</li> <li>■三医師会合同災害対策会議(毎月開催・計10回開催予定)</li> <li>■三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会(令和6年8月から・計4回開催予定)</li> <li>■コーディネーター運営委員会(適宜)</li> <li>■認知症初期集中運営委員会(適宜)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東大阪市内在宅医療介護連携推進コーディネーターによる電話相談窓口を設置</li> <li>■医療マップ改訂作成し9月上旬関係機関に配布、HPにて各医療機関情報更新</li> <li>■三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会</li> <li>・三医師会、行政との連携確認</li> <li>・小児在宅医療講習会(12月7日)の開催</li> <li>・ポータル電源mapの作成</li> <li>・レスパイト入院につき迅速な対応が出来るよう手順構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東大阪市内在宅医療介護連携推進コーディネーターによるMSW交流会(未定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■多職種向け緩和ケア事例検討会(6月13日、10月17日いずれも18時半)</li> <li>■在宅医療にかかると多職種向け講演会(11月3日)</li> <li>■多職種向け緩和ケアセミナー(11月21日)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■医介連携にかかると市民向け講演会(9月14日)</li> <li>■在宅医療にかかると市民向け講演会(11月3日)</li> <li>■緩和ケア市民向け講座(2月15日)</li> </ul>

(2) 進捗状況	
①	多職種連携研修会全体会(三医師会輪番制で今年度は布施が担当) 従来から多職種連携研修会には会員医師、コーディネーターで積極的に関与、課題の抽出等に取り組み、それを全体会にフィードバックできるように検討。三医師会災害対策委員会と安否確認訓練を実施(8月25日役員間でプレ、9月3日会員含め実施)。
②	通常の電話相談窓口実施。医療マップ改訂版9月上旬関係機関に配布。
③	MSW交流会(三医師会輪番制で今年度は当会が担当)にて、病院のMSWほか、多職種も集まり、入退院時の調整等について意見交換していた。
④	緩和ケア事例検討会10月分関係機関にチラシ配布、HP掲載で集客中。多職種向け講演会8月下旬より関係機関にチラシ送付並びに新聞オリコミ、HP掲載で集客中。緩和ケアセミナー講師決定、準備中。
⑤	医介連携市民向け講演会実施済。在宅医療市民向け講演会8月下旬より関係機関にチラシ送付並びに新聞オリコミ、HP掲載で集客中。緩和ケア市民講座講師決定、準備中。

(3) 課題	
①	災害対策委員会にて実施の安否確認訓練は、8/25の役員間ではレスポンスも良かったが、9/3会員向け分は、事前案内を2回したレスポンス数が半数ほどであり、実際の災害時に役立ちよう準備していきたい。
②	医療マップ改訂は2年越しとなり思った以上に時間がかかった。意見調整の難しさを感じる。

## ■ 積極的医療機関の取組について

対象地域	東大阪市（中地区）
実施主体	河内医師会
連携の拠点	河内医師会
市町村医介連携事業（委託先）	河内医師会

### (1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

他医療機関等への調整・支援等

#### (主な取組)

- 非常用電源を常時配置。
- 緩和ケアのある病院と毎月1回情報共有を実施。
- 訪問看護ステーションと2ヶ月に1回定期連絡を行う。
- 診療グループ内でBCP研修を開催し、課題の抽出を行う。

#### 積極的医療機関4件における対応状況

- ① 急変時の診療支援 現状対応可 3件
- ② 在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可 4件
- ③ 地域医療研修の機会確保 現状対応可 1件
- ④ 災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 1件
- ⑤ 地域包括支援センター等との協働 現状対応可 3件

#### (2) 対応状況

- 連携の拠点を中心とした連携会議で互いの資源の共有・知る会議をしたい。
- 高齢者の救急医療について、本人の意思確認困難な場合に家族の意見の相違があった場合の対応。
- 地域への普及・啓発、講師の確保。
- 在宅医療における夜間対応。

#### (3) 課題

※上記の内容は東大阪地域の積極的医療機関の取り組みを集約したものであり、各医療機関がすべての項目を実施しているものではありません。

## ■ 連携の拠点の取組について

対象地域	東大阪市(西地区)
実施主体	連携の拠点 布施医師会
	市町村医介連携事業（委託先） 布施医師会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む）			
①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修
<ul style="list-style-type: none"> <li>■三医師会合同災害対策会議(毎月開催・計10回開催予定)</li> <li>■布施医師会災害対策会議(4月9日から隔月・計8回開催予定)</li> <li>■三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会(8月から計4回開催予定)</li> <li>■AYA世代のがん患者が直面する金銭的な問題に対処する講演会準備及びAYA世代の在宅医療を検討する会議(8月から計3回開催予定)</li> <li>■認知症高齢者の在宅医療を支えるための知識の普及のための会議(8月から計2回開催予定)</li> <li>■布施医師会拠点事業情報連絡会議(6月18日から計8回開催予定)</li> <li>■東大阪市在宅医療介護連携推進センターによる地域包括支援センター多職種連携研修会全体会(2月22日)</li> <li>■コーデイネーター運営委員会(適宜)</li> <li>■認知症初期集中運営委員会(適宜)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害対策</li> <li>・防災訓練を実施し、発災時の手順確認と課題の抽出</li> <li>・布施医師会管内の医療機関mapを作成し、配置をビジュアル化。</li> <li>■三医師会小児在宅・医療的ケア児対策会議及び講演会</li> <li>・三医師会、行政との連携確認</li> <li>・小児在宅医療講習会(12月7日)の開催</li> <li>・ポータル電源mapの作成</li> <li>・レスパイト入院につき迅速な対応が出来るよう手順構築</li> <li>■東大阪市在宅医療介護連携推進センターによる電話相談窓口を設置</li> <li>■医療マップ改訂作成し9月上旬関係機関に配布、HPにて各医療機関情報更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■AYA世代の在宅医療を検討する会議</li> <li>患者さんやご家族の「暮らし・お金・仕事」等の困りごとに対して「自分らしく生きる」、「身体的や精神的な痛みと同じく、お金や仕事といった社会的な痛み」について対処方法などの情報共有を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■在宅医療における認知症高齢者とその抱える家族の課題をフォローアップして市民・関係者を対象に研修会(11月2日)を開催し啓発活動を行う。</li> <li>■AYA世代のがん患者が直面する金銭的な問題に対処する講演会(11月30日)の開催。</li> </ul>

(2) 進捗状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>② 防災訓練については8月25日及び9月3日に実施し、まずは会員の安否状況把握と市設置の応急救護所への派遣要請に対する可否を集計できるまで行い、今回の参加者はのべ99名(参加率は前年比+3.3ポイント)まで増加した。</li> <li>② 医師管内の「医療機関map」については8月度会員向け月末郵便で送付し、情報の共有化を図った。今後医療機関の密集地域の表記方法等について見直しをするなど、精度アップを図る。</li> <li>②④ 小児在宅医療講習会に向け、講師の選定や周知方法について検討中。</li> <li>② ポーターの電源map作成については前項の「医療機関map」で作成手法はほぼできている。今後対象となる施設の選定・ヒアリング内容と方法など、具体的に対応策につき協議を重ねる。</li> <li>④⑤ 多職種向け並びに、市民向け講演会4講師も決定しており、今後開催に向けた周知方法など具体化に向け協議を重ねる。</li> </ul>	<p>今回の初年度という事もあり、まずは足下の課題につき抽出したもので計画を立て、単年度分は訓練や講演会を中心に実施できる運びとなっている。しかし、次年度以降の予定についてPDCAサイクルを回しなおるロードマップを作成し、これに基づき計画的な取組みをする必要があるが、これまでは進んでいない。「布施医師会拠点事業情報連絡会議」において、各パートの進捗状況確認ロードマップ作成に向けた取組みが急務である。</p>

(3) 課題	
	<p>今回の初年度という事もあり、まずは足下の課題につき抽出したもので計画を立て、単年度分は訓練や講演会を中心に実施できる運びとなっている。しかし、次年度以降の予定についてPDCAサイクルを回しなおるロードマップを作成し、これに基づき計画的な取組みをする必要があるが、これまでは進んでいない。「布施医師会拠点事業情報連絡会議」において、各パートの進捗状況確認ロードマップ作成に向けた取組みが急務である。</p>

## ■ 積極的医療機関の取組について

対象地域	東大阪市（西地区）
実施主体	連携の拠点 布施医師会
	市町村医介連携事業（委託先） 布施医師会

(1) 令和6年度の取組内容（予定含む） 他医療機関等への調整・支援等	
<p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 在宅療養を必要とする患者へ訪問リハビリの導入、多職種連携による支援、急変時の訪問診療。</li> <li>■ 病院・訪問看護ステーション・ケアマネジャーとの連携による在宅療養の開始。</li> <li>■ 病院からの受入れにおける退院カンファレンスの参加。</li> <li>■ 連携協力医療機関との定期カンファレンスの実施、入院可能な医療機関との連携・調整。</li> <li>■ 非常用電源の確保、自家発電装置の貸出について整備。</li> <li>■ オンライン電子カルテツールの導入。</li> <li>■ 地域包括支援センターとの連携。</li> <li>■ 臨床研修医の同行研修受け入れ。</li> </ul>	
(2) 対応 状況	<p>積極的医療機関 9 件における対応状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 急変時の診療支援 現状対応可5件</li> <li>② 在宅療養に移行する患者への医療・介護、障害福祉サービスの確保 現状対応可6件</li> <li>③ 地域医療研修の機会確保 現状対応可4件</li> <li>④ 災害時における医療提供のための計画策定 現状対応可 3 件</li> <li>⑤ 地域包括支援センター等との協働 現状対応可6件</li> </ul>
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 救急受け入れ時の患者・家族の意見の相違があった場合の対応。</li> <li>■ ケアマネジャーとの調整。</li> <li>■ 災害時における適切な医療提供のための計画策定を検討。</li> <li>■ 24時間使用可能なネットワークとしての連絡可能なシステムへ参加できる体制整備。</li> <li>■ 老人施設スタッフへの教育・研修。</li> </ul>

※上記の内容は東大阪地域の積極的医療機関の取り組みを集約したものであり、各医療機関がすべての項目を実施しているものではありません。

## ■ 連携の拠点の取組について

対象地域	八尾市
実施主体	八尾市医師会
連携の拠点	八尾市医師会
市町村医介連携事業（委託先）	八尾市

### (1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 医療資源MAP作成にかかる検討会（6月から3月、計10回）</li> <li>■ 在宅医療提供体制構築にかかる会議（八尾市在宅医療推進ネットワーク会議）の開催（6月から2月、計5回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 関係機関（医療機関や地域包括支援センター等）への医療資源MAP配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 在宅医療提供体制構築にかかる会議（八尾市在宅医療推進ネットワーク会議）の開催（6月から2月、計5回）</li> <li>■ 急変時対応を含む医療提供体制構築に向け、グループ診療体制構築に向けた検討会（6月から3月、計10回）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第8次医療計画にかかる研修会（医療機関・多職種向け）年2回</li> </ul>	

(2) 進捗状況	<p>① 医療資源MAP：20年前に作成されたものをベースに改変して作成予定。 八尾市在宅医療推進ネットワーク会議：連携拠点・積極的医療機関における課題を共有し、今後の方向性について検討を重ねている。</p> <p>② 医療資源MAPの配付範囲について検討を進める。</p> <p>③ どのような形でグループ診療体制を構築していくか、連携上の問題点や具体的な対策等について検討を進める。また、在宅酸素療法や人工呼吸器管理の患者に対して発電機等を貸し出す等、その他のサポート体制について検討する。</p> <p>④ 医師・多職種に対して積極的医療機関・連携の拠点の取組みについて周知を図るとともに、様々な意見を収集して在宅医療体制の強化につなげる研修会を企画。訪問看護との連携研修会においても周知を図る。</p>
----------	---

(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①② 医療資源MAPの活用目的・完成イメージ共有（掲載範囲、項目、レイアウト、配付範囲等）</li> <li>③ グループ診療体制の目的・方向性（全体を進めるか、小エリアでモデルケースを作るか）、具体的な連携方法・ツール選定、協力・連携する事業所への周知</li> </ul>
--------	---

## ■ 積極的医療機関の取組について

対象地域	八尾市
連携の拠点	八尾市医師会
実施主体	市町村医介連携事業（委託先） 八尾市

### (1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

他医療機関等への調整・支援等

#### (主な取組)

- 八尾市在宅医療推進ネットワーク会議に参加。
- 在宅療養中患者の急変時、受入を行う体制を整備中。
- 在宅医療に関する研修会の実施を検討。
- 自院で購入した非常用電源について、周辺診療所の患者への貸出も含めた運用ルールを検討（今年度中）  
（運用ルールについては、拠点に情報共有）。
- 他医療機関に対するBCP策定支援（今年度中）。
- 病院の研修医の近隣医療機関の往診同行を引き続き実施。
- 療養に必要な医療及び介護、障害福祉サービスや家族等の負担軽減につながるサービスを適切に紹介。

(2) 進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 連携の拠点と積極的医療機関による八尾市在宅医療推進ネットワーク会議に参加し、現状や課題等について意見交換を行った。</li> <li>■ 救急受入体制を整えている。</li> <li>■ 大阪府在宅医療サービス基盤整備推進事業費補助金を活用し、研修会の実施を計画している。</li> <li>■ 自院で購入（補助事業活用）予定の非常用電源について、運用ルールを検討中。今後、近隣診療所へ周知予定。</li> <li>■ 近隣クリニックとのBCP策定検討会を予定。その中で、積極的医療機関に整備予定の非常用電源の借り入れについても記載予定。</li> <li>■ 近隣の在宅支援診療所と小グループを形成しモデルケース作りをしている。</li> </ul>
(3) 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 近隣の在宅支援診療所と小グループで在宅連携のマニュアル作りに向け課題抽出。</li> <li>■ 地域包括ケアシステムの在宅医療提供体制構築のため、訪問看護、訪問薬剤、訪問歯科などのように連携を行っていくかを検討。</li> </ul>

※ 上記の内容は八尾地域の積極的医療機関の取り組みを集約したものであり、各医療機関がすべての項目を実施しているものではありません。



## ■ 連携の拠点の取組について

対象地域	柏原市
連携の拠点	一社) 柏原市医師会、市立柏原病院
実施主体	市町村医介連携事業（委託先） 柏原市役所高齢介護課（市立柏原病院）

### (1) 令和6年度の取組内容（予定含む）

①会議の開催	②地域の資源の把握・関係機関との調整	③急変時対応等の体制構築等	④在宅医療に係る研修	⑤在宅医療の普及啓発
① 医療・介護ネットワーク「いかしてネットかわら」検討会(6月、11月)、柏原市看護連携会議(年4回) ② 柏原市医師会学術講演会(10月、2月)、柏原市障害者自立支援協議会子ども部会(9月、2月)、藤井寺保健所管内難病児者地域支援ネットワーク推進会議(2月)への参画 ② 「柏原市在宅医療・介護連携マップ」と「介護保険サービス事業者一覧」の情報提供、ICTを活用した情報提供 ④ 地域医療連携研修会(7月、9月、10月、11月、12月、1月)、令和6年度「いかしてネットかわら」研修会(12月) ⑤ 市民公開講座(6月)、出前講座(年5回程度)				

(2) 進捗状況
① 顔の見える関係づくりや医療・介護の情報共有し、連携がスムーズに進む方策を協議している。 ② 市内の医師、看護師等の医療従事者が、在宅医療・介護に係る知識・技術の習得や情報共有のため、関係機関との連絡調整を行っている。 ② 今年度より、医療的ケア児の地域の支援体制構築をめざすため、関係会議に参画している。 ④ 市内医療機関に対し、診療科目等の調査とともに、介護サービス等の最新情報を確認、毎年更新を行っている。 在宅医療に係る医療・介護従事者等に必要知識・技術の習得と情報共有のため、医介連携に関するテーマで研修会を実施（予定を含む）している。 ⑤ 医療・介護ネットワーク「いかしてネットかわら」検討会関係者対象の研修会を11月に実施予定。 在宅医療に係る専門職等を対象に、看取り期にある本人の意思決定に関する研修「人生会議～大切なひとに自分の思いを伝えませんか～」のテーマで、市民公開講座と2部構成の開催により、ACPの普及啓発を行った。 転倒防止や感染予防等在宅医療につながるテーマで、専門職による出前講座を実施（予定を含む）している。

(3) 課題
① 医療・介護ネットワーク検討会連携の会議において、現在は高齢者に関することが中心だが、将来的には小児を含めた地域支援体制のネットワーク構築等、小児の在宅医療分野の取組について検討が必要。 ② ICTの活用について、個人情報取り扱いに関する課題があり、患者に関する情報共有の活用は進んでいない。円滑に運用するためには、活用方法や情報管理について検討が必要。